



休日 日曜
第一回月 十九日
部税十五金一部二等
場所指定廿選者
後行所
福島縣平町大町五
牛谷 政喜
新いわき新聞社

△八百米リレー内郷
中井川、川又、鈴木、津
口) 一分三八秒八一大會
新記録—2湯本、3大浦

△走歩跳—佐藤兼介(泉
野) 2草野仁(小名濱)六米四
多三郎(内郷)六米四五
(大浦)5山内龜代司(草
野)

△走高跳—鈴木武雄(内
郷)一米八〇△—縣大會
新記録—2富澤敏雄(湯
本)3安齋正五(好間第
二)4志賀重郎(好間第
二)5野川正夫(大野)

△劍道—加藤幸一(好間
第一)2田子三郎(三坂)
3遠藤秀夫(平)4木田芳
重(草野)5根本名治(大
野)6相撲—田中芳太郎(豐
間)2高橋強(平)3鈴木
福太郎(豊間)4森重喜
(内郷)5吉田朝次郎(泉
野)

△剣道—加藤幸一(好間
第一)2田子三郎(三坂)
3遠藤秀夫(平)4木田芳
重(草野)5根本名治(大
野)6相撲—田中芳太郎(豐
間)2高橋強(平)3鈴木
福太郎(豊間)4森重喜
(内郷)5吉田朝次郎(泉
野)

△劍道講習會
武德會福島支部半分會では
廿五日から三日間半署演武
場で剣道講習會を開催する

一週一言

農山漁村の救済土木事業
が實現して失業者や貧困者
に愈よ慈雨が注がれる所と
なつた。本縣に對する同事
業の割當ては府縣道路工事
に五十萬圓、町村道に百三
十二萬圓、新規中小河川に
十萬圓、河川費の繩上げに
六萬一千圓で此の合計百九
十八萬圓を算してゐる。

時局を救ふべく絞り出さ
れた此の事業費は本縣に於
ける通常豫算の土木費より
も遙かに上で相當に巨額な
ものと云ひやう而して百九
十八萬の内殆んど全部に近
い百八十二萬圓を投せられ
る完成後の本縣の道路は確
かに一新面目をあぐるに相
違ない、此れ程の事業を直
營に限られたので日頃請負
業者間に大なる不平不満を
叫ばれてゐる様だが當業者
としては無理もないことであ
らう。

△走高跳—鈴木武雄(内
郷)一米八〇△—縣大會
新記録—2富澤敏雄(湯
本)3安齋正五(好間第
二)4志賀重郎(好間第
二)5野川正夫(大野)

陸上競技は内郷

昨日の聯合青年體育大會

谷各五點、4三坂四點、
5上遠野三點

△走高跳—鈴木武雄(内
郷)一米八〇△—縣大會
新記録—2富澤敏雄(湯
本)3安齋正五(好間第
二)4志賀重郎(好間第
二)5野川正夫(大野)

「職を與へよ」と

町の失業者が陳情

四百名連署の歎願書を携へ
けふ町役場と監督所へ出頭

十一時間打續
けに協議

産業不況對策協議
会に開催、出席者八十三名刻
一日午前九時から四倉小學
校で郡產業組合役員評議會

まんまと五圓余を騙る

双葉郡富岡町小良ヶ濱生れ

廣野村字折木魚行商佐藤茂

まんまと五圓余を騙る

ころ打揚げた仕掛け花火の不

意を直ちに發見柴木敷把を

まんまと五圓余を騙る

ころ打揚げた仕掛け花火の不

意を直ちに發見柴木敷把を

まんまと五圓余を騙る

ころ打揚げた仕掛け花火の不

意を直ちに發見柴木敷把を

まんまと五圓余を騙る

ころ打揚げた仕掛け花火の不

意を直ちに發見柴木敷把を

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

修公會室敷地理立て等のを訪問、小林所長に對して

土木事業を起す筈であり希も前記の如く歎願書を提出して引き上げた。

ト

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

修公會室敷地理立て等のを訪問、小林所長に對して

土木事業を起す筈であり希も前記の如く歎願書を提出して引き上げた。

ト

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

修公會室敷地理立て等のを訪問、小林所長に對して

土木事業を起す筈であり希も前記の如く歎願書を提出して引き上げた。

ト

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

修公會室敷地理立て等のを訪問、小林所長に對して

土木事業を起す筈であり希も前記の如く歎願書を提出して引き上げた。

ト

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

修公會室敷地理立て等のを訪問、小林所長に對して

土木事業を起す筈であり希も前記の如く歎願書を提出して引き上げた。

ト

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

修公會室敷地理立て等のを訪問、小林所長に對して

土木事業を起す筈であり希も前記の如く歎願書を提出して引き上げた。

ト

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

修公會室敷地理立て等のを訪問、小林所長に對して

土木事業を起す筈であり希も前記の如く歎願書を提出して引き上げた。

ト

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

修公會室敷地理立て等のを訪問、小林所長に對して

土木事業を起す筈であり希も前記の如く歎願書を提出して引き上げた。

ト

仕事は得たが空腹で

ツルハシ振れぬ

このにも悲惨な労働者の群

内郷の失業救済事業たる充實と組合員の募集に努め

同村大字宮第三小學校庭七

余坪の土盛り及び字新宿

下の所工事もないが近く縣會の承認を得れば夏井川改築去それより半土木監督所

は栽培したる各品種の特性をそなへたもの残さねばならぬことは云ふまでもないが例へば

秋蒔き白菜
栽培法 (二)

先づ所定の畦巾で作條をつくりたならばまれに基肥を施すのであるが其の量は堆肥二〇〇貫、大豆粕一二貫、過磷酸六貫、灰一五貫、下肥八〇貫が適當で下肥は作條に施し其の上に前記の肥料を一尺八寸乃至二尺おきほどに點々と施して少しく覆土した後上へ更に基肥の直ぐ上でなく其の傍ら一、二等を距て一ヶ所に十粒づゝを丁寧に播くのである、播き終つたらば更にその上へ足で以て二分位の深さに土を被せる、そして乾燥した時に下肥の外に汚水か河水などを反當り一五〇貫位を先づ溝の底に施して置いてから前に述べた方法で播くと好い成績が得られる

次には間引であるがこれ

秋蒔き白菜

廣雅

滑らかで欠刻の深いもの
葉形の長形なもの、葉柄
が長く幅の狭いものは不
良である。



シゲイア

幾多の治療剤中超然として偉効靈能を有するものは獨り本藥のみ

◇數ヶ所に備付ける旋風器
夏を知らぬ食堂の涼しさ

そしてほがらかな女給のサービ

平驛前

(電六二〇) 力フエータヒラ

◇冷たいおビール・ソーダ水

◇特製アイ・クリーム

洋服調製 最新流行
平頭仲町 五番地

仲町に洋服屋が出来ました
工賃本位が弊店のモット
正確と
迅速他の追従を許さぬ勉強

平井町 藤沼醫院 電話五〇七番

病淋・毒梅・科兒小・科外內

院醫原市 (番四一一電話)

內科、小兒科

スペイン G.H.N 元詰
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
1・10
御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋藥舗 (電三)

難波醫院
内科……醫學
一般……博士
婦護看急派の求め
に應じます
平看護婦
電話三〇七